

2015 年度
インターンシップ・プログラム
実施報告書

2016 年 1 月



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

ごあいさつ

2015年度インターンシップ・プログラムの実施にあたり、ご協力を賜りました企業・団体や大学、その他関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

お蔭をもちまして、今年度は388名の大学生が就業体験をさせていただく機会を与えていただきました。それら修了生が実践から「働く」を考え社会人基礎力を養えたものと認識しております。

受入先、学生の双方がよりメリットを享受できるプログラムとして、発展できるよう皆様より引き続きご理解とご協力を賜りたく、今年度のインターンシップ事業の実施状況を本書にまとめました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

プログレスコース 総合コーディネーター
渡邊 博己
京都学園大学 経済経営学部 教授



プログレスコースでは、受入企業・団体様の提供するプロジェクトの目的達成のため、学生が主体的に計画を立て、実践を図っていくわけですが、とくに実践過程で想定外のさまざまな困難に遭遇し、そして、計画の甘さ、実行力などの問題などに気付くのが通例です。また、そこに学生達が次代の担い手として成長するきっかけがあると考えております。

今年度も魅力的なプロジェクトで学生を受け入れ頂きました企業様・団体に厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

ビジネスコース 総合コーディネーター
多田 実
同志社大学 政策学部 教授



おかげさまで、今年度も受講生の成長が実感できるプログラムになりました。インターンシップが就職活動に直結している「就活前哨戦」のような感覚で捉えている学生が増えている昨今ですが、本プログラムでは、当初から一貫して「教育プログラム」であることを念頭に置いており、単なる「社会人体験」ではなく受講後の学生生活を考える一助となることを願っております。今後とも皆様のご支援ご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

パブリックコース 総合コーディネーター
古川 秀夫
龍谷大学 国際学部 教授



私が担当するNPOクラスの受講生の実習内容は奉仕・ボランティア活動と呼べるものです。中間指導にうかがった一つの施設での実習は小学生の1週間に及ぶキャンプのサポートをするものでした。その活動に長く携わられている方から、子どもたちの成長よりもお手伝いをしてくれる大学生の成長のほうが目覚ましいというお話をお聞きました。少し申しわけないと思いつつも、本プログラムの意義を再確認させていただくことができました。

目 次

第1章 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 インターンシップ事業の変遷	1
第2章 2015年度インターンシップ・プログラムの実施内容	2
I. プログラムの概要	2
II. プロGRESSコースの実施内容	3
III. ビジネス・パブリックコースの実施内容	4
IV. プログラムを運用するにあたって	5
第3章 受入企業・団体のアンケート結果から	8
第4章 受講生のアンケート結果から	14
第5章 今後の課題	25
I. プロGRESSコースの課題	
II. ビジネス・パブリックコースの課題	
＜資料＞	
資料1. 出願者・受講者数と受入企業・団体数について	26
資料2. 参加団体・出願者・受講者・コーディネーター数の推移	27
資料3. エントリー企業・団体一覧	28
資料4. プロGRESSコース講義概要	30
資料5. プロGRESSコースプロジェクト別コーディネーター一覧	31
資料6. ビジネス・パブリックコース講義概要	32
資料7. ビジネスコース・パブリックコースコーディネーター一覧	33
資料8. 受講生意識調査集計結果	34

第1章 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 インターンシップ事業の変遷

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 (以下「本財団」) が窓口となって実施するインターンシップ・プログラム (以下「本プログラム」) は、1997年に当時の通商産業省・文部省・労働省が合同で「インターンシップ推進にあたっての基本的な考え方」を取りまとめたことと並行して、本財団に「インターンシップ制度研究会」を発足させたことにはじまる。この研究会における検討の結果、インターンシップは「来るべき新時代に向けての産官学地域等が協働で構築する新たな人材育成を目的とする社会的制度であり、高等教育改革に資するプログラム」であるとして翌1998年度より本格的に始動した。

本プログラムは、開始から一貫して正規の大学教育の一環として明確に位置づけ、産官学地域連携による教育プログラムとして実施してきた。実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的として、単なる就職のためのインターンシップではないことを強調している。これらの目的遂行のため、コーディネーターと事務局の協力による事業推進、受入先への訪問や意見交換会の実施、修生や受入先担当者のゲストスピーカーとしての招聘、ニーズと社会情勢に応じたプログラムの改変、マッチングや事務処理の効率化のための事務システム導入などに努めてきた。

これまでに京都地域にある大学・短期大学 (以下「大学」) のすべての学生が参加できるというスケールメリットを活かして、延べ4,900を超える企業や行政機関、非営利組織などの協力のもと、約8,500名の学生が参加し、受入先や大学、受講生、指導するコーディネーターなどの意見を反映しながら、毎年検討を積み重ねてプログラムの改善を図っている。また、2005年度には、大学共同の取り組みとして、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム (特色GP)」に選定されるなど、社会的にも教育プログラムとして高い評価を得ることができた。

本プログラムの開始以降、インターンシップは全国の多くの大学で独自の取り組みが行われた。インターンシップを実施している大学は、1996年度に17.7%であったが、2013年度には70.7%¹⁾となり、インターンシップは定着したと言える。しかし、近年は就職活動解禁日の変更に伴いインターンシップの実施方法や時期に変化が見られる。そこで、2015年度より「インターンシップ事業企画検討委員会」を発足し、今後の本プログラムのあり方について、また充実を目指し、更なる検討を重ねている。

また、各大学との連携について、2014年度から本プログラムを受講した学生に対し、大学が正課科目として単位認定をする場合、大学と本財団の間でインターンシップ・プログラムの運営に関する委託契約を新たに締結する運用を開始した。

今後も、意欲ある学生がプログラムに参加でき、これまで以上に高い満足度を維持するため、産官学地域における連携をより密にするとともに、本プログラムが受講生だけでなく、受入先にとってもより意義のある取組となるよう、プログラムを推進する。

*出典1) 日本学生支援機構 HP

平成24年度、25年度大学等におけるインターンシップの実施状況に関する調査

http://www.jasso.go.jp/career/internship_chousa.html

第2章 2015年度インターンシップ・プログラムの実施内容

I. プログラムの概要

1. コースの設定

①プログレスコース

受入企業・団体が提示したテーマを実現するプロジェクト型として実施する。インターンシップ期間は、6月から11月の約5か月間で、年1回の実施である。

②ビジネス・パブリックコース

企業・行政機関・非営利組織（NPO・NGO等）において就業体験を行う実践型として実施する。インターンシップ期間は、7月中旬～9月中旬の間に10日以上で設定され、年1回の実施である。

2. 受入企業・団体の登録

2015年度は、前年度インターンシップ・プログラムの登録企業・団体を中心に、新規企業の開拓にも注力し、338の企業・団体に対しインターンシップ・プログラムへの登録を依頼した。

受入企業・団体の登録を依頼する際には、教育プログラムとして実施するインターンシップの理解を得るため、案内パンフレットと「エントリーの手引き」を活用し、実習日数の確保や実習内容の設定について説明を行った。

このような依頼に対し、ビジネス・パブリックコースに217、プログレスコースに14、合計231の企業・団体からの登録を得た。このうち、新規に登録のあった企業・団体数は、ビジネス・パブリックコースに22、プログレスコースに4の合計26であった。

3. 学生の募集

学生募集にあたっては、本財団に加盟している大学のうち35大学44カ所のキャンパス、そして非加盟大学では要望により9大学10ヶ所のキャンパスにて、学生へ募集ガイドを配布した。同時に、12大学17ヶ所のキャンパスで開催されるインターンシップ説明会においてプレゼンテーションし、広報活動を行った。また、本財団所在地であるキャンパスプラザ京都でも説明会を実施し、学生へ教育プログラムとしてのインターンシップに参加する意義について丁寧に説明を行い、参加を呼びかけた。

●インターンシップ・プログラム事前説明会

(日 時) 4月11日(土) 18:00～19:30 (参加学生数) 270名

(会 場) キャンパスプラザ京都

(内 容) 2015年度インターンシップ・プログラム出願について

修了生による報告：同志社大学4回生（実習先：社会福祉法人行風会）

個別相談会

●プログレスコース説明会・相談会

(日 時) 4月16日(木) 18:15～21:00 (参加学生数) 80名

(会 場) キャンパスプラザ京都

(内 容) 2015年度インターンシップ・プログラム出願について

受入先による実習内容説明

受入先による個別相談会

4. 出願受け付けと面接

本財団の加盟大学の正規学生および大学院生であれば、学部・学年を問わず出願を可能とした。また、加盟大学の学生が優先されることを出願者が了承した場合に限り、非加盟大学の学生の出願も受け付けた。

出願手続きは、Webエントリーをした者から出願票を受け付け、面接を実施する方法をとった。出願者全員に対して行う面接では、実習を最後までやり遂げ、さらに向上心があるかを確認する質問項目を設け、出願者の志望動機を確認した。

●Webエントリー期間

4月24日（金）～5月7日（木）

●出願・面接日（会場：キャンパスプラザ京都）

5月8日（金） 16：00～18：30、9日（土） 10：00～15：00

5. 選考・マッチング

出願者に対する選考は、受入先が選考を行う場合と、本財団が選考を行う場合の2種類を設定した。選考方法は、受入先企業・団体の登録時点で決定し、学生へ情報開示した。本財団が選考を行う場合には、受入先が提示する受入要件を満たしているか、また志望理由と実習内容が適合しているかを検討し受講許可を与えた。なお、2015年度にエントリーした受入先企業・団体231のうち、受入先による選考を選択したのは67、本財団による選考を選択したのは、164であった。

ただし、プログレスコースは、長期間のプログラムであり、出願者のプロジェクト内容の理解を確認するため、全て受入先による選考とした。

6. 受講手続

例年、キャンパスプラザ京都で受領していた受講料徴収手続きについては、2015年度よりコンビニエンスストアで支払えるようにした。受講料は、ビジネス・パブリックコースで10,000円（加盟大学以外の学生は15,000円）、プログレスコースで15,000円（加盟大学以外の学生は20,000円）とし、保険料・施設利用料・その他講座運営にかかる諸費用に充てた。

II. プログレスコースの実施内容

1. 実施プロジェクト

今年度のプログレスコースにエントリーした14団体が提供する14プロジェクトのうち、9プロジェクトが成立した。9プロジェクトの内容と受講生数は、資料5のとおりである。

2. 講義概要

(1) オリエンテーション

受講にあたっての注意点につき事務連絡を行い、プロジェクト記録誌を配布した。プロジェクトメンバーの相互理解を深めることを目的としてプロジェクト毎にミーティングを行った。また、プロジェクト・マネジメントの基礎知識について学び、プロジェクト形成の過程で使用するワークシートの説明を行った。

(2) プロジェクトの導入

プロジェクトの導入にあたり、前年度の修了生（株式会社インテリジェンスオフィスのプロジェクトに参加）から体験談を聞き、受入先の特定非営利活動法人子ども自立の郷ウォームアップスクールここからの理事長より、お話をいただいた。その後、実習生で「えんたくん」（P7参考）を囲み、他ブ

プロジェクトの学生との意見交換を行った。また、ビジネスマナーの習得やコミュニケーション能力の向上を目的としたコミュニケーショントレーニングを実施した。

(3) プロジェクト形成

プロジェクト毎のテーマに応じた目標の設定を行い、目標に向けた体制を明確化し活動計画表を完成させた。プロジェクト形成の終盤では、全受講生の合同による講義時間に活動計画の発表を行い、他者からの意見を得て、活動計画の完成度を上げる機会をもった。

(4) プロジェクトの実施

主に受講生の夏期休暇を利用して、活動場所を受入先に移しプロジェクトを実施した。

(5) フォローアップ

プロジェクトの評価方法について学び、成果報告に向けた資料の作成と専門講師によるプレゼンテーションの講習を受け最終成果報告会への準備を行った。また、プログラムの受講を通じた自己の変化を知る自己評価の時間を設け、今後のキャリア形成に向けた振り返りの機会を設けた。

(6) プロジェクト報告・評価

最終受講日には、成果報告会を実施し、約5か月間の活動報告とその成果について発表し、プロジェクト報告書を作成した。

III. ビジネス・パブリックコースの実施内容

1. 実習受入について

今年度は、ビジネスコースで135団体に254名、パブリックコースで37団体に89名の学生に対し受講許可を決定した。出願者と受講者数については、資料1のとおりである。

2. 講義概要

(1) 事前学習

実習に向けた目標と仮説設定を業界研究を通して言語化することをねらいとして、1クラス12名～18名で編成されたゼミ形式で実施した。業界研究については、修了生32名と受入先企業・団体のご担当者11名の方のご協力を得て実施し、社会が求めるスキルや心構えなどについても学習する機会とした。

(2) ビジネス・スキル研修

ビジネスマナーの基本とコミュニケーション能力の向上及びロジカルシンキングの獲得を目指し、専門講師による研修を実施した。

(3) リスクマネジメント講習

社会で起こりうるトラブルやリスクについて学び、「報・連・相」の重要性について理解を深めることをねらいとして実施した。

(4) 事後学習

実習で経験したことを他者に伝え、他者が経験から学んだことを聞くことにより、事前学習で設定した目標の達成や仮説の検証を行い、その後の学習意欲の喚起につながる目標を明確化するねらいをもって実施した。

2015年度より全クラスを3グループに分け、クラス単位で発表する「実習経験交流会」を実施した。他クラスの経験からも学び、幅広い知見をもって自己の学習を振り返る機会とした。

IV. プログラムを運用するにあたって

1. 受入先企業・団体との連携

ビジネス・パブリックコースにおいては、出願受付の前に説明会を実施し学生を受け入れる際の重要事項を伝達した。また、学生が実習を行っている間に、コーディネーターが受入先を訪問し、実習状況の確認を行った。プログレスコースにおいては、出願受付の前に説明会を実施し学生を受け入れる際の重要事項を伝達し、プログラム実施中にはコーディネーターを含む会議を開催しプロジェクトの進め方について意見交換を行った。

●ビジネス・パブリックコース受入先ご担当者説明会

(日 時) 4月15日(水) 15:30~17:30

(会 場) キャンパスプラザ京都

(参加数) 受入先ご担当者44名

(内 容) 2015年度インターンシップ・プログラムについて
受入先ご担当者による事例報告

受入先様：アトム株式会社

認定特定非営利活動法人気候ネットワーク

●プログレスコース受入先ご担当者説明会

(日 時) 4月16日(木) 17:30~18:00

(会 場) キャンパスプラザ京都

(参加数) 受入先ご担当者14名

(内 容) 2015年度のプログラム概要及び年間スケジュールについて

2. 大学・短期大学との連携

学生の所属大学と連携し、プログラムの広報、意見交換、情報の共有化を行った。プログラムの広報としては、大学・短期大学の希望に応じ学生対象のプログラム説明を行った。また、前年度の3月には大学担当者の連絡会議を開催し2015年度プログラムの実施概要を説明した。

また、本プログラムを大学が単位認定する場合、インターンシップ事業に関わる単位委託契約の締結を行った。プログラム終了後、この契約に基づいた科目担当者会議を開催し、コーディネーターが採点した成績を開示するとともに、受入先の実習状況評価、受講生のレポート、講義への出欠状況を確認する機会を設けた。

3. インターンシップ事業企画検討委員会におけるプログラムの検討

プログラムの開始から10年目を迎えるにあたり各種委員会として立ち上げられた「インターンシップ研究会」は、長期的な教育プログラムの方向性について組織的に検討する機関として機能していたが、議題が多岐に渡るため、近年コーディネーター会議との位置づけが不明確になってきた。そこで、本来の目的に沿った機能が発揮できるよう、2015年度より、「インターンシップ事業企画検討委員会」と名称を改め、その役割を整理した。なお、インターンシップ研究会で担っていた教務に関する事項については、各コースのコーディネーター会議で審議することにした。

<教育プログラムとしての質的向上に向けた課題>

○財団中長期計画「第4ステージプラン」におけるインターンシップ事業の位置づけについて

○教育プログラムとして実施する財団インターンシップ事業の目的の明確化・具体化について

- 成績基準について
- 登録企業・団体の業種選択について
- 実習の実施時期について
- 2016 年度受入先企業開拓の方針について
- ビジネスコース・パブリックコースの事後学習日の「実習経験交流会」について

<プログラムの特色を検証し広報する取り組み>

- インターンシップ修了生に関するアンケート調査について
- 財団指定調査課題 インターンシップ修了生アンケートについて（過年度修了生対象）

インターンシップ事業企画検討委員会構成員

委員長	古川 秀夫	龍谷大学 国際学部 教授
副委員長	多田 実	同志社大学 政策学部 教授
委員	三浦 潔	京都文教大学 総合社会学部 教授
	河村 律子	立命館大学 国際関係学部 教授
	渡邊 博己	京都学園大学 経済経営学部 教授
	筑田 一毅	大谷大学・大谷大学短期大学部 学生支援部キャリアセンター
	広瀬 友子	京都学園大学 キャリアサポートセンター
	久保 歩	立命館大学 共通教育課 インターンシップオフィス
	森野 裕之	京都文教大学 就職部就職進路課
	石川 武	三共精機株式会社 代表取締役社長

4. リスクマネジメント

(1) 保険

本財団では、プログラム開始から終了までの期間（実習期間を含む）、全コースの受講生を対象として、普通傷害保険及び個人賠償保険に加入し、不慮の事故やけが等に対応している。2015年度は、保険金請求に該当する事例はなかった。

【普通傷害保険】 死亡・後遺障害 500 万円／入院保険金日額 4,500 円／通院保険金日額 3,000 円

【個人賠償保険】 てん補限度額 1 億円（自己負担額 0 円）

(2) リスクマネジメント講習

ビジネス・パブリックコースにおいては、事前学習にてリスクマネジメント講習を設定し、想定される事例のケーススタディを行った。また、プログレスコースにおいては、初日のオリエンテーションにおいて、「報告・連絡・相談」の重要性とともに、プログラム中に起こりうるリスクへの対応を受講生に伝えた。

(3) 三者協定書の締結

実習が円滑に進められるよう、全受入企業・団体と受講生の所属大学、本財団の三者間で「インターンシップ実習生派遣に関する協定書」を締結した。

参考：インターンシッププログラム写真

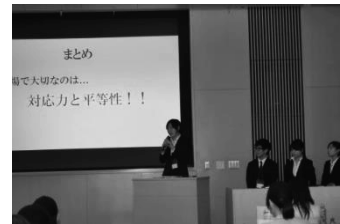
1. インターンシップ説明会（左：全体説明会、右：プログレスコース説明会）



2. ビジネスコース講義（左：ビジネスマナー研修、中：ゼミの様子、右：実習経験交流会）



3. プロゲスコース講義（左：「えんたくん」を使った授業、中：プロジェクトごとの打ち合わせ、右：成果報告会）



4. 受入先での実習の様子

① 京都府地球温暖化防止活動推進センター（コーディネーターによる中間指導）

② 京都市 ③ 株式会社すみや亀峰菴 ④ 株式会社図書印刷同朋舎



第3章 受入企業・団体のアンケート結果から

今年度のインターンシップ・プログラムに対する満足度は、「非常に満足」「かなり満足」「やや満足」を合わせた数字から算出すると92%であった。また、次年度の受入れ予定については、71%の受入先が「受入れる予定である」と回答されており、ご負担が多いにもかかわらず、多数の受入先から支持を得たことが窺える。一方、プログラムに対するご意見については改善点として認識し、今後検討していくこととする。

なお、アンケートの質問項目は、コースの内容に応じた項目を設計したため、コースにより異なる項目がある。

I. アンケートの実施要項

1. アンケート実施日

ビジネスコース・パブリックコース 2015年9月中旬～下旬(実習終了後)
 プロGRESSコース 2015年11月初旬～中旬(プロジェクト終了後)

2. 回答数

	企業・団体数	回答数	回答率
ビジネスコース	135	90	66.7%
パブリックコース	37	29	78.4%
プロGRESSコース	9	9	100.0%
総計	181	128	70.7%

II. アンケートの集計結果

1. 受入れについて

●ご準備いただいた実習内容に対し、インターンシップ生のマッチングについてはいかがでしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①満足している	73	81.1%	26	89.7%
②どちらでもない	15	16.7%	3	10.3%
③不満がある	2	2.2%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
総計	90	100.0%	29	100.0%

【①の理由】

目的意識がはっきりしていた
 子ども相手の職場でしたが、うまく打ち解ける明るさ愛嬌がありこちらとしては、大変満足しています。
 全体的には満足している一部実習生の希望と異なるマッチングがあったように思う。
 行政志望の学生を希望していたため
 業界に興味を持っていただけていたので
 公務員希望ということで目的を持って取り組まれていた。
 本人が希望された部署で実習いただいた。
 とても意欲的でした。
 与えられた課題、達成すべき目標に向かって非常によく頑張ったので
 非常に積極的な態度で真剣に取り組みその結果成果と成長をつくってくれているから
 自ら積極的に取り組むことができた
 今回の2名、どちらもスキルが高かった。
 皆さん事前準備をしっかりとされて真剣に取り組んでおられました。
 当団体を希望して来てくれたため
 タイプの異なる2人だったので指導する側にとっても良い勉強となった

【②③の理由】

今までになくコミュニケーション能力の低い学生だった。
 とてもいい方でしたが、当業界に興味があるとかでないのは残念でした。
 こちらの事業内容が正しく伝わっていなかったため
 実習内容とインターンシップ生の力量に少し差がありました。

●実習内容は主にどのようなものを実施されましたか。(複数回答可)

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①社員の基幹的な業務の一部を体験	43	47.8%	15	51.7%	6	66.7%
②社員の補助的な業務の一部を体験	40	44.4%	14	48.3%	4	44.4%
③社員の通常業務以外の業務	4	4.4%	1	3.4%	2	22.2%
④見学を中心に実施	10	11.1%	0	0.0%	1	11.1%
⑤新任者研修に準ずる座学を中心に実施	9	10.0%	3	10.3%	2	22.2%
⑥その他	8	8.9%	2	6.9%	2	22.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

【⑥その他の記述欄】

ロールプレイング、オペレーション体験など業務の一部の疑似体験
 業務を支える思考方法の体験
 同窓会員向けの新企画を立案しプレゼンテーションを実施
 見学、座学、体験
 実施事業のスタッフとしての活動
 経営者目線での業務全て
 当社営業マンのアテンド(大部分) その他
 3R推進のための政策提言とプレゼン
 店舗実習
 客先の工場見学

●支給された各種手当の総額をお答えください。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
0円	71	78.9%	26	89.7%	6	66.7%
1円～4,999円	4	4.4%	1	3.4%	0	0.0%
5,000円～9,999円	6	6.7%	1	3.4%	0	0.0%
10,000円～19,999円	1	1.1%	0	0.0%	1	11.1%
20,000円以上	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	6.7%	1	3.4%	2	22.2%
総計	90	100.0%	29	100.0%	9	100.0%

●次年度のインターンシップ受入れについてお伺いします。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①受入れる予定である	64	71.1%	23	79.3%	4	44.4%
②受入れない	3	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
③未定	21	23.3%	5	17.2%	2	22.2%
無回答	2	2.2%	1	3.4%	3	33.3%
総計	90	100.0%	29	100.0%	9	100.0%

2. 受講生について

●参加した学生の実習態度はいかがでしたか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①真剣に取り組んだ	83	92.2%	26	89.7%	7	77.8%
②ふつう	6	6.7%	3	10.3%	2	22.2%
③真剣さを感じられなかった	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	90	100.0%	29	100.0%	9	100.0%

●学生自身に成長があったと思えますか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①成長があったと感じる	78	86.7%	26	89.7%	7	77.8%
②どちらともいえない	10	11.1%	3	10.3%	2	22.2%
③成長があったと思えない	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	90	100.0%	29	100.0%	9	100.0%

●前問で「①成長があったと感じる」と答えた方は、どのような成長がありましたか。(複数回答)

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①学習意欲の喚起	24	26.7%	10	34.5%	2	22.2%
②自主性・独創性の育成	30	33.3%	4	13.8%	3	33.3%
③キャリア形成	17	18.9%	3	10.3%	0	0.0%
④問題解決能力の向上	18	20.0%	5	17.2%	3	33.3%
⑤多様な価値観の認識	44	48.9%	14	48.3%	4	44.4%
⑥コミュニケーション能力の向上	35	38.9%	8	27.6%	6	66.7%
⑦プレゼンテーション能力の向上	18	20.0%	1	3.4%	3	33.3%
⑧社会が求める能力やスキルの向上	19	21.1%	11	37.9%	2	22.2%
⑨その他	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%

【⑨その他の記述欄】

1つのモノを作り上げていく中、自分の思い込みに気付いたり、自分の悪い点を把握して改善が図れた。

3. インターンシップ・プログラムについて

●大学コンソーシアム京都が行うインターンシップに参加された一番の理由は何ですか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①コンソーシアム京都の加盟大学との強化	15	16.7%	3	10.3%
②指導することにより社員の育成になるから	15	16.7%	4	13.8%
③学生への自社PRのため	5	5.6%	0	0.0%
④採用活動につなげたいから	11	12.2%	1	3.4%
⑤学生から自社に対するアイデアを得るため	4	4.4%	4	13.8%
⑥社会貢献	28	31.1%	6	20.7%
⑦その他	12	13.3%	11	37.9%
総計	90	100.0%	29	100.0%

【⑦その他の記述欄】

学生の就業意欲の向上に寄与し、職員の指導能力の向上や職場の活性化につながるため
若者支援の協会のミッションに合致するため
社内・職場の活性化
活動に対する学生の参加の手段として
学生の価値感、視野拡大のため
業界に対する意識改革の一助として
①～⑥全て

●学生を受入れて、一番のメリットは何ですか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①大学との連携強化	7	7.8%	1	3.4%
②職場活性化	26	28.9%	12	41.4%
③指導する社員の成長	14	15.6%	3	10.3%
④自社のPR・広報・宣伝	7	7.8%	0	0.0%
⑤優秀な学生との出会い	15	16.7%	2	6.9%
⑥新たな企画開発	2	2.2%	3	10.3%
⑦社会貢献	10	11.1%	5	17.2%
⑧その他	9	10.0%	3	10.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
総計	90	100.0%	29	100.0%

【⑧その他の記述欄】

若い力に触れること
事業のブラッシュアップ
業界認識・意識変革

●学生を受入れて、一番のデメリットは何ですか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①指導に時間・コストがかかる	49	54.4%	15	51.7%
②事前の準備に時間・コストがかかる	16	17.8%	6	20.7%
③安全への配慮に手間がかかる	6	6.7%	0	0.0%
④情報漏えいが不安である	10	11.1%	2	6.9%
⑤その他	6	6.7%	5	17.2%
無回答	3	3.3%	1	3.4%
総計	90	100.0%	29	100.0%

【⑤その他の記述欄】

特になし
大きなデメリットはありません。強いて言うと、担当職員の勤務シフトを都合よく立てるのに工夫が必要なこと。
職場に負担がかかる。各部門に対応依頼するので。
メリットの方が大きいので問題なし

●過去に受け入れた学生が、貴社・貴団体の採用試験に参加されたことはありますか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①ある	31	34.4%	10	34.5%
②ない	40	44.4%	5	17.2%
③新卒採用を行っていない	6	6.7%	3	10.3%
④わからない	12	13.3%	9	31.0%
無回答	1	1.1%	2	6.9%
総計	90	100.0%	29	100.0%

●前問で「①ある」と答えた方にお伺いします。

過去に受け入れた学生を、貴社・貴団体において採用されたことがありますか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①ある	20	64.5%	6	60.0%
②ない	2	6.5%	0	0.0%
③採用には至らなかったが応募していた	7	22.6%	1	10.0%
無回答	2	6.5%	3	30.0%
総計	31	100.0%	10	100.0%

●大学コンソーシアム京都以外から大学生のインターンシップを受け入れていますか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①はい	54	60.0%	27	93.1%
②いいえ	35	38.9%	1	3.4%
無回答	1	1.1%	1	3.4%
総計	90	100.0%	29	100.0%

●2015年度のインターンシップ・プログラム全体についてどの程度満足されていますか。

	ビジネス		パブリック		プログレス	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①非常に満足	21	23.3%	5	17.2%	1	11.1%
②かなり満足	35	38.9%	12	41.4%	4	44.4%
③やや満足	28	31.1%	10	34.5%	2	22.2%
④やや不満	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
⑤かなり不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥非常に不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	4	4.4%	2	6.9%	2	22.2%
総計	90	100.0%	29	100.0%	9	100.0%

Ⅲ. ご意見・ご要望について（自由記述欄より抜粋）

本項目については、基本的に原文のまま掲載する。ただし、誤字・脱字および個人名・企業名が特定される箇所の記述については、当該部分を削除・加筆した。

【学生について】

工業	その企業への興味がある学生さんとの出会いがあれば嬉しいです
官公庁	他の学生とあわせても3人で、少人数だったため、目が行き届きやすく良かったと思います。

【スケジュールについて】

製造	事前にかかるコストなど問題もありますが、事前打ち合わせなどを詳細に行う方が、より良い体験を学生ができるのでは？学生の方達とスケジュールを決めて進めていければと思います。受入れ側、来る側、両者共に本気で行う期間としていきたいです。
非営利組織<NPO・NGO>	一か月以上入れる方を希望していますので、あまり少ない方は任せる仕事がありません。長く勤めていただけの方、途中で勝手に勤務日を変更しない方に来ていただきたいです。
非営利組織<NPO・NGO>	もう少し実習期間を長めに設定していただきたい。短期集中型ではなく週に1日など長期通い型があげられる。特に子ども・若者とかかわる仕事なので長期に関わることで、変化・成長がみられ実習生の満足度や理解度も高まる。とはいえ、非常に意欲的で安心感のある学生を育てられていて、実習生を受け入れる際も安心している。
非営利組織<NPO・NGO>	インターン生決定→事前訪問のスケジュールが1, 2週間遅くても良い。他からの受入れのスケジュールより早いため、事前訪問してもらってもそのタイミングで全ての日程を決められず待つってもらうことになる。

【書類について】

建設・不動産	都度送付いただく書類ですが、目を通すのに大変時間をかけています。できましたら全体的にもっとコンパクトにして頂けますと大変助かります。よろしく願いいたします。
官公庁	実習日誌やアンケートなどできるだけ手間のかからない方法でお願いできれば幸いです。

【情報開示について】

卸売・小売・販売	他社のインターンシップの内容がわかるようなレポートが欲しい。学生のインターンシップ後の生の声も聞いてみたい。
教育	今回、事前に実習予定表を提出しましたが、他社の実習概要を拝見することはできないでしょうか。
情報・通信・マスコミ	企業側のモチベーションアップの仕組みがあればありがたい。学生から企業へのアドバイスや評価、インターンシップを終えた学生のその後の取り組みなど
製造	学生が希望する企業とのマッチングについて少し知りたい。どのように選定しているのか。

【プログラム全体について】

飲食・宿泊	この8月は最近の中で特に一番忙しい時期となり、事前に色々と準備はしていたものの、予想以上に忙しくなった現場にてサポートに入って頂きました。当社のような会社は、全社員が各業務において主体的に動き「宿泊・サービス業」という社会において、顧客の満足を生むため、社会に貢献するために動いておりますので、フレキシブルな動き考えが求められます。学生の方には、今後も「社会」の中でのさまざまな役割について考え、それを身体を動かして実践できるビジネスの「場」として学んでいただける機会があれば大変有意義だと考えております。
卸売・小売・販売	今年で10年目になり、様々思うこともあります。国では「地方創成」が言われ、京都市、各大学、産業界ともにいろんな想いを持って方針を作られています。インターンや大学コンソーシアム京都市は、これまで以上に大きな期待を任えるかもしれないと思います。連携し、協力できることを考えていきたいと思えます。
卸売・小売・販売	今後も社会貢献と各大学とのつながり強化の為受入れを行います。よろしく願いいたします。
教育	今年で10年目の受入れとなりましたが、毎年優秀な学生に実習に来て頂き感謝いたします。就職活動のスケジュール変更や採用直結型のプログラムが増えていますが、インターンシップの草分け的存在としてのプログラム提供を今後も継続していただければと思います。
建設・不動産	毎年、本年はどのような学生の応募があるのか楽しみにしています。
情報・通信・マスコミ	どんどんやって頂きたい。人を採用した時のマッチング、これを誤ると採用する側も採用される側もお互いに大変不幸なことになります。職場・職場に向き不向きがあります。インターンを経験することで、学生さんにその目を養って頂ければと思います。
非営利組織<NPO・NGO>	今年度も素晴らしい学生をインターン生として受け入れ、スタッフにとっても刺激となりました。今後も学生・当団体双方にとって充実したインターンシップを実施することができればと思います。
非営利組織<NPO・NGO>	インターンシップ事業によって学生ならびに受入れ先の双方が多くを学ぶ貴重な機会だと考えます。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第4章 受講生のアンケート結果から

今年度のインターンシップ・プログラムに対する満足度は、「非常に満足」「かなり満足」を合わせると全体の81%であった。また、成長感については、90%の受講生が「成長があったと感じる」と回答した。

概して、受入先企業・団体における就業体験においては満足度も高く成長感にもつながり、体験以外の研修や講義の部分を含んでも、アクティブ・ラーニングによる効果を実感する受講生の意見が多く出された。

なお、アンケートの質問項目は、コースの内容に応じた項目を設計したため、コースにより異なる項目がある。

I. アンケートの実施要項

1. アンケート実施日

ビジネスコース・パブリックコース 2015年9月26日(事後学習日)
 プロGRESSコース 2015年11月14日(最終講義日)

2. 回答数

	回答数
ビジネスコース	243
パブリックコース	84
プロGRESSコース	42
総計	369

II. アンケートの集計結果

1. 実習について

●あなたが実習をおこなった受入先へのマッチングはいかがでしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①大変満足	105	43.2%	40	47.6%
②満足	108	44.4%	39	46.4%
③どちらでもない	19	7.8%	5	6.0%
④不満	8	3.3%	0	0.0%
⑤とても不満	2	0.8%	0	0.0%
無回答	1	0.4%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%

●あなたが体験した実習内容は、主にどのようなものでしたか。(複数回答可)

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①社員の基幹的な業務の一部を体験	109	41.0%	35	34.0%
②社員の補助的な業務の一部を体験	74	27.8%	45	43.7%
③社員の通常業務以外の業務	12	4.5%	7	6.8%
④見学を中心に実施	26	9.8%	10	9.7%
⑤新任者研修に準ずる座学を中心に実施	33	12.4%	5	4.9%
⑥その他	6	2.3%	0	0.0%
無回答	6	2.3%	1	1.0%
総計	266	100.0%	103	100.0%

【その他の記述内容】

アルバイトと同じような仕事
 セミナー発表
 プレゼンテーションの資料作成、座学
 作業(製造で袋詰め、箱詰め)、接客
 地域連携レポート

●実習の実働日数は何日間でしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
10日未満	27	11.1%	6	7.1%
10日	151	62.1%	33	39.3%
11～15日	36	14.8%	34	40.5%
16～29日	24	9.9%	11	13.1%
30日以上	2	0.8%	0	0.0%
無回答	3	1.2%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%

●実習の実働日数についてはいかがでしたか。

※ビジネスコース・パブリックコースを合わせて集計

	①長すぎる	②やや長い	③適当	④やや短い	⑤短すぎる	無回答	総計
10日未満	1	0	21	10	1	0	33
10日	3	25	136	18	2	0	184
11～15日	1	20	40	8	0	1	70
16～29日	6	16	10	3	0	0	35
30日以上	0	2	0	0	0	0	2
無回答	0	1	2	0	0	0	3
総計	11	64	209	39	3	1	327

2. 受講生自身の変化について

●あなた自身に成長があったと思われますか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①成長があったと感じる	225	92.6%	77	91.7%	40	95.2%
②どちらともいえない	15	6.2%	5	6.0%	1	2.4%
③成長があったと思えない	2	0.8%	1	1.2%	0	0.0%
無回答	1	0.4%	1	1.2%	1	2.4%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

●前問で「成長があったと感じる」と答えた方は、どのような成長がありましたか。(複数回答)

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①学習意欲の喚起	96	39.5%	35	41.7%	13	31.0%
②自主性・独創性の育成	60	24.7%	26	31.0%	17	40.5%
③キャリア形成	67	27.6%	14	16.7%	5	11.9%
④問題解決能力の向上	36	14.8%	17	20.2%	12	28.6%
⑤多様な価値観の認識	124	51.0%	44	52.4%	21	50.0%
⑥コミュニケーション能力の向上	84	34.6%	36	42.9%	24	57.1%
⑦プレゼンテーション能力の向上	38	15.6%	12	14.3%	10	23.8%
⑧社会が求める能力やスキルの向上	65	26.7%	17	20.2%	14	33.3%
⑨その他	5	2.1%	0	0.0%	4	9.5%

【その他の記述内容】

規則正しい生活ができるようになった
 自身の考え方のプラス変化
 自分が何故その業界へ進みたいのか真剣に考えられるようになった
 質疑応答やプレゼン準備での意見交換により積極性が向上した。
 就職先の考える幅が広がった
 積極性の向上
 物事の本質がどのようなものなのかを見抜く観察眼
 自分に足りないところが分かるキッカケになった

●受入先への就職希望についてはいかがですか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①就職したい	44	18.1%	25	29.8%	14	33.3%
②やや就職したい	124	51.0%	43	51.2%	16	38.1%
③あまり就職したくない	54	22.2%	12	14.3%	9	21.4%
④就職したくない	20	8.2%	4	4.8%	3	7.1%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

●受入先と同業種への就職希望についてはいかがですか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①就職したい	66	27.2%	38	45.2%	14	33.3%
②やや就職したい	114	46.9%	34	40.5%	15	35.7%
③あまり就職したくない	50	20.6%	7	8.3%	12	28.6%
④就職したくない	10	4.1%	5	6.0%	1	2.4%
無回答	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

●就職することに対する意識の変化について

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①就職したいと強く思うようになった	122	50.2%	51	60.7%	26	61.9%
②就職したいと少し思うようになった	62	25.5%	19	22.6%	7	16.7%
③それほど変化はなかった	45	18.5%	14	16.7%	8	19.0%
④就職したくないと少し思うようになった	11	4.5%	0	0.0%	0	0.0%
⑤就職したくないと強く思うようになった	2	0.8%	0	0.0%	1	2.4%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

●実習前と比較して、実習した受入先の業種・職種のイメージはどうなりましたか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①良くなった	174	71.6%	66	78.6%	32	76.2%
②変わらない	59	24.3%	15	17.9%	7	16.7%
③悪くなった	7	2.9%	0	0.0%	3	7.1%
無回答	3	1.2%	3	3.6%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100%

● インターンシップ実習で何を得られましたか。

1) 働くということを実感できた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	4	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	10	4.1%	3	3.6%	4	9.5%
③どちらでもない	19	7.8%	3	3.6%	1	2.4%
④思う	112	46.1%	40	47.6%	21	50.0%
⑤とてもそう思う	97	39.9%	38	45.2%	16	38.1%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

2) 受入先について知ることができた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
③どちらでもない	1	0.4%	1	1.2%	0	0.0%
④思う	105	43.2%	33	39.3%	16	38.1%
⑤とてもそう思う	131	53.9%	50	59.5%	26	61.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

3) 自分のスキルが向上した

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	15	6.2%	3	3.6%	2	4.8%
③どちらでもない	58	23.9%	24	28.6%	6	14.3%
④思う	137	56.4%	45	53.6%	24	57.1%
⑤とてもそう思う	31	12.8%	12	14.3%	10	23.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

4) 自分の専門知識が向上した

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	5	2.1%	0	0.0%	1	2.4%
②あまり思わない	21	8.6%	6	7.1%	1	2.4%
③どちらでもない	61	25.1%	26	31.0%	12	28.6%
④思う	118	48.6%	37	44.0%	22	52.4%
⑤とてもそう思う	37	15.2%	15	17.9%	6	14.3%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

5) 自分の力試しが出来た

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	4	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	17	7.0%	4	4.8%	4	9.5%
③どちらでもない	67	27.6%	25	29.8%	4	9.5%
④思う	113	46.5%	39	46.4%	14	33.3%
⑤とてもそう思う	41	16.9%	16	19.0%	20	47.6%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

6) 卒業までの目標設定ができた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	5	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	18	7.4%	9	10.7%	5	11.9%
③どちらでもない	68	28.0%	17	20.2%	2	4.8%
④思う	107	44.0%	39	46.4%	18	42.9%
⑤とてもそう思う	43	17.7%	19	22.6%	17	40.5%
無回答	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

7) 受入先に貢献できた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	8	3.3%	0	0.0%	2	4.8%
②あまり思わない	35	14.4%	7	8.3%	3	7.1%
③どちらでもない	87	35.8%	31	36.9%	14	33.3%
④思う	95	39.1%	36	42.9%	23	54.8%
⑤とてもそう思う	18	7.4%	10	11.9%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

8) 他大学の学生・教員とのネットワークができた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	7	2.9%	3	3.6%	0	0.0%
②あまり思わない	20	8.2%	4	4.8%	3	7.1%
③どちらでもない	51	21.0%	17	20.2%	4	9.5%
④思う	103	42.4%	42	50.0%	20	47.6%
⑤とてもそう思う	61	25.1%	18	21.4%	15	35.7%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

● 実習を終えた今の自分が社会に出る際に不安だと思うことは何ですか。

1) ビジスマナーや話し方

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	52	21.4%	16	19.0%	7	16.7%
②やや不安だ	114	46.9%	43	51.2%	20	47.6%
③どちらでもない	23	9.5%	15	17.9%	6	14.3%
④あまり不安ではない	49	20.2%	6	7.1%	9	21.4%
⑤不安でない	5	2.1%	4	4.8%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

2) 職場の人との人間関係

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	37	15.2%	5	6.0%	9	21.4%
②やや不安だ	78	32.1%	33	39.3%	11	26.2%
③どちらでもない	42	17.3%	10	11.9%	6	14.3%
④あまり不安ではない	72	29.6%	30	35.7%	13	31.0%
⑤不安でない	14	5.8%	6	7.1%	3	7.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

3) スキルや専門知識

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	47	19.3%	16	19.0%	10	23.8%
②やや不安だ	106	43.6%	35	41.7%	22	52.4%
③どちらでもない	56	23.0%	21	25.0%	4	9.5%
④あまり不安ではない	31	12.8%	8	9.5%	6	14.3%
⑤不安でない	2	0.8%	4	4.8%	0	0.0%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

4) 体調管理

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	21	8.6%	8	9.5%	7	16.7%
②やや不安だ	49	20.2%	19	22.6%	14	33.3%
③どちらでもない	56	23.0%	15	17.9%	4	9.5%
④あまり不安ではない	68	28.0%	19	22.6%	10	23.8%
⑤不安でない	48	19.8%	23	27.4%	7	16.7%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

3. インターンシップ・プログラムについて

● インターンシップ・プログラム全体についてどの程度満足していますか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①非常に不満	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
②やや不満	5	2.1%	2	2.4%	0	0.0%
③どちらでもない	37	15.2%	8	9.5%	7	16.7%
④やや満足	114	46.9%	42	50.0%	18	42.9%
⑤非常に満足	84	34.6%	32	38.1%	17	40.5%
無回答	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
総計	243	100.0%	84	100.0%	42	100.0%

Ⅲ. ビジネスコース・パブリックコース「実習経験交流会」について(自由記述欄より)

本年度初めて開催した「実習経験交流会」について、受講生の意見を確認した。その結果、満足度としては299人中170名が「やや満足」「とても満足」と回答したため「他のゼミ学生との交流」は、一定の成果を上げたと考えられる。また、自由記述欄にも271件の記述があり肯定的な意見が多く見られた。一方、否定的な意見や実施方法に対する意見も挙げられたので、2016年度に向けての参考としていく。

肯定的な意見

- ・色々な業種、職種等の話が聞けて良かった。視野が広がった。他の業種に興味を湧いた。
- ・発表者のプレゼンテーション能力を見習いたい。
- ・業種、職種問わずコミュニケーション能力、思いやり、信頼関係が大切だと分かった。
- ・行きたかった業種、職種のことが分かって良かった。
- ・他のインターンシップに行きたくなった
- ・ゼミごとのカラーがあって面白かった。
- ・今年初めてということだが、次年度もしてほしいと思う。

否定的な意見

- ・意義が分からなかった。
- ・交流会の準備時間をもったいない。ゼミクラスでもっと交流を深めたかった。

実施方法に対する意見

- ・統一感がなく分かりにくかったので、テーマを設定してほしい。
- ・色々な業界のことを知りたかった。
- ・結局「良かった」だけで終わっていたので、苦労話や大変なことも聞きたかった。
- ・タイムキーパー等の役割が必要では。
- ・パワーポイントを使うのが見たかった。
- ・席が後ろなので、模造紙が見えなかった。
- ・もっと少ない人数でほしい。
- ・時間は短くても、色々な業種のことを知りたい。
- ・業界研究に役立つような話を知りたい。
- ・ラフな形で行うとより意見が出やすかったと思う。
- ・受入れ先の方の話を知りたい。

Ⅳ. 意見・感想について (自由記述欄より)

本項目については、ビジネス・パブリックコースで130件、プログレスコースで37件の意見が寄せられた。ビジネス・パブリックコースの「実習経験交流会」について寄せられたものは、Ⅲに集約した。以下に記載された意見・感想について掲載する。なお、誤字・脱字及び個人・受入先が特定できるものは削除・加筆している。

1. ビジネスパブリックコースの自由記述欄

マナー研修・ロジカルシンキングに対する意見	ビジネスマナーについて知らなかったので参加して普段していたことが、間違っていたことが分かった。就活まで2年あるけど、正しいマナーを身に付けたいと思いました。
	コミュニケーショントレーニング(マナー講習)は、正直、事前学習の中で一番大変なものだったが、その一方で一番実習中に役立つものばかりだったと思う。
	マナーについての講座があったが、それだけでは全然足りていなくて、自主的に勉強しなければならないと感じた。
	事前事後ではマナー講座があり実習先でも助かったと思う場面がありました。マナー講座の授業回数ももう少しあってもいいと思います。
	事前にコンソーシアム京都のセミナーでビジネスマナーやロジカルシンキングについて学んだので、それらを実際にインターンシップ中にいかせたと思います。
スキルアップトレーニング、ロジカルシンキングでは別クラスとなったが1時間のみであったため、別のクラスにする必要があるか分からなかった。	

事前事後学習・COへの肯定的な感想・意見	インターンシップ・プログラムに組み込まれている事前・事後学習により、普通よりもさらに充実した日々、実習を意識して過ごすことができた。
	インターンシッププログラムでは実習自体もそうですが、事前学習など様々な点で学ぶところがあったのでとてもためになる機会だと感じました。2回生や1回生の時から参加しておけばよかったなと思いました。
	ビジネスマナー等、事前学習をしっかりとすることでインターンシップに行く心構えができたのが良かった。
	実習内容に関して、とても充実していて楽しいインターンになった。プログラムは基本的に、インターン先に失礼にならないよう工夫されていたと思う。練習やマナーに関することを多く学ばせてもらった。
	事前学習にとっても力が入っていて、実際インターンへ行った時もマナーで恥をかくことは無かったし、業界研究も出来ていたので身に付きやすく、大変良かったと感じました。
	インターンシッププログラムに参加したことで、マナーを学べたり、他のインターン実習生の経験を聞くことができ、より理解が深まった。
	事後学習の時に、他大学の子とも仲良くなれたことで就職活動の時にも仲間と一緒にできると思う。それができてよかった。
	ゼミで知らない業界、企業へ行かれた方々と一緒になったこと、同業種の方々と同じゼミだったこと、どちらも非常に大きな学びとなり、良かったと思います。
	ゼミの先生も大変熱心であり、私の実習に対する熱意の向上につながりました。
	レポートを書く上で自分が行く業界のことを学習していたので良かったと思います。
普通のインターンシップだと、レポートを書いたりすることは無いので、今回のインターンシッププログラムではレポートを書くことで、学んだことを振り返ることができたので良かった。	

事前事後学習・COへの意見・要望	ゼミクラスによってやってることが全く違ったので、もっと共通のこともあればいいのになと思いました。
	コーディネーターの先生によって、ゼミでしている内容が全然違うと、他のクラスの友達の話聞いていて思いました。
	私たちのゼミでは、グループワークがほとんどなかったため、もっとゼミ生と意見交流できるプログラムになっていたら、良かったと感じました。
	事前学習（ゼミクラス）の内容はもう少し充実させてほしかったと思います。段取りも悪く、皆でレポートの内容を深めるというのあまり意見を出し合ったりということもなく、せっかくいろいろな大学の色々な考えの人が集まっているので、もっと話し合う機会が増えた方が有意義なのでは？と思いました。
	他の業種のインターンに行った人との交流がやや少なかった気もするので、横割りではなく縦割りでグループを組む日もあっても良かったのではと思った。
	知らない企業について知る機会になった。他の班とももっと話したかった。
	担当の先生がこわくて質問しづらかったです。
	せっかくクラス分けされて担当の先生がいたりするのに、何かケアしてくれたり、学習の際もあまりアドバイスとかなくて、残念でした。
	月1、土曜日の10:00~18:00(だいたい) 行うことが多かったのですが、結構長くて、中だるみしそうに思います。一回のプログラムの時間をもう少し短くして、家でできるような課題を設定しても良いと思います。
	実習日程がばらばらで、実習が終わってから日にちが結構経過していたので事後学習のモチベーションがあまりなかった。
	事前・事後学習の際、授業が延びることが多くあったので、配慮して頂きたい。
	ホテル業界では観光面を知っておく必要があるのですが、授業の中で業界を知ることも大切だが、観光地を学ぶ授業があってもいいと思う。
	事前・事後学習会の際、どの教室に行って何をするのが分かり辛かったです。もう少しアナウンスして欲しいと思いました。後、授業の初めにその時間に何をやるのかという要点を簡潔に伝えてほしいと思います。
ゼミは一般企業の人を入れてほしい。	

受入生の実習に対する感想・意見・要望	<p>実習が始まるまでは不安がたくさんあったけれど、始まってからは毎日充実した日々になりました。</p>
	<p>実際に社会活動に参加するという事は早々経験できるものでなく、とても貴重な体験でした。大学の中ではなく、外で自分で活動するという事、これは本当に初めての出来事でとても楽しかったです。</p>
	<p>働くことに大切なことは「技術」だと思っていた。しかし、実習を通して「体力」「気力」「努力」が重要であると感じた。この3つをこなすことで、「技術」はついてくると実感でき、貴重な体験ができました。</p>
	<p>インターンシップを通じて多くの社員の方々とお話できる機会があり、より実務に近い体験をすることができてとても貴重な経験になりました。ありがとうございました。</p>
	<p>20日間という比較的長い期間インターンシップをさせていただいたことで、よりリアルに就業体験をすることができたし、より多くのことを学ぶことができたので良かったと思う。</p>
	<p>普段の業務内容がよく分かり、働くイメージを明確にすることができてとても良い体験だった。</p>
	<p>実習を通して、働くことの面白さと体力などからの難しさを学びました。</p>
	<p>インターンシップに参加したことで自分の将来への見通しが立ったように感じた。実習の経験を得たことで考え方や物事に対する視野が少しは広がったように思った。</p>
	<p>店舗に出るのではなく、新人研修と同様のスピーチ研修やグループワークを行った。アルバイトの代わりではなく、きちんと私たちを育てようとして下さっていて、とても良かったです。</p>
	<p>実習先の印象に関しては、部署を複数回って実習するタイプのものであったため、「この部署にはぜひ就職したい!」という所と、「この部署には二度と関わりたくない!」というところと二極化する結果となった。しかし、マイナスな結果も含め、自分には勉強になったため、プログラム全体にはかなり満足している。</p>
	<p>職場本来の慌ただしさを体験できなかったことは残念に思う。</p>
	<p>各実習先によって配属先によっては、複数名若しくは1名のみということもあったので、それぞれ違った良さもあったが、デメリットもあると思った。</p>
	<p>インターン生が複数いる場合、社員さんも対応・指導しきれていないと感じた。基本は一人にすべきであると考え。又、ホームページで受け入れ期間も細かく掲載して欲しい。</p>
	<p>実習内容に書いてあった事務作業ができませんでした。事前に掲示されていた実習内容と実際の実習内容の違いが気になりました。できれば改善して頂きたいです。</p>

プログラムを通じた感想	<p>今回のインターンシップを経て、学生と社会人の違いや社会人の方々が普段何を考えて仕事に取り組んでおられるのかが分かった。今回の経験を無駄にせず、これから先の就職活動に活かしていきたいと思った。</p>
	<p>学生・コンソーシアム・企業・ゼミ…等、大勢の人が係り合うプログラムでありましたが、情報を共有したり、意見を伝え受け止められるか等、異なる個人が連携して成り立っている社会だということが分かったし、自分がそこに加わる難しさに少し怖さがあります。インターンシップには来て良かったです。希望する職種や企業のインターンや訪問は行こうと思うようになりました。</p>
	<p>思ってたより、楽しくもあり、大変なインターンでした。でも、こういったものがしっかり身に付いていけば、社会に出ていくときにも、役に立つので大切なことだと思う</p>
	<p>やはりネットの情報が充実していると言えど、実際にインターンをしてみないことには本当の仕事のやりがいや業務内容を知ることはできないという事がわかり、このようなインターンプログラムはありがたいと思いました。</p>
	<p>とても面白くて、良い勉強になりました。普段気付かないけれど、周りの人にすごく支えられていると実感しました。</p>
	<p>自分が足りない部分やこれからの課題を発見することができて良かった。多くの経験をすることができ、知識などを得ることができて良かった。</p>

その他の意見・要望・改善点	去年度の実習内容の確認、受け入れ先企業でのインターンシップとしての体勢が整っているか募集前に確認して頂きたいと感じました。
	受講料がもう少し安いと嬉しいです…
	募集案内のパンフレットに受け入れ先訪問についての説明を加えて頂きたかったです。（どのような事をする場なのか、よく分からなかったので）事前訪問の為に、どれくらいの時間を空けておけば良いのかも分かれば予定が立てやすいと思います。
	レポート提出が必ず本人がキャンパスプラザまで持参しなければいけないことについて、スケジュール調節が難しい方もいるのではと思いました。
	会社でクラス分けするのでなく、会社の行く部署でクラス分けしてほしいです。
	実習先担当者から意見ですが、実習日誌に「指導担当者からアドバイス」欄のスペースが少ないです。
	インターンシップ先で日誌を書いている場合は実習日誌の記録はなしにしてほしい。インターンシップ先の方も2度手間になると考える。
	多々説明が十分でないところがあった。事務局と講師の連携をもっとしっかりとしたほうがいい。
	出来ればインターンシップ先までの交通費を支給して欲しかった。（バイトに行けず、経済的負担が大きい）
	インターンシップ先選考の際に、第一希望や第二希望を落とされた人に、受かった人と比べて何が足りなかったのかを教えてください。企業先選考だと難しいと思いますが、コンソーシアム選考なら出来ると思います。インターンシップは就職前の大切な一過程だと思うので、何が足りなかったか、何が面接にダメだったのかを教えてください。本人の為になると思います。

2. プログレスコースの自由記述欄

講義について	講座など受けることができ学ぶ事が多かった。コーディネーターの先生もアドバイスをしてくださったのでよかった。
	講義では、他のプロジェクトの方と意見交換ができ、皆のレベルの高さを感じ、私ももっと積極性を磨かなければならないと思った。
	インターンシップを通して、様々な経験ができたことは貴重な体験となったことは当然のことだが、それ以上に他大学、学年の人との交流により、自分の視野が広がることができて、とても良かった。
	他団体の人たちともっと関わりたいと思った。
	教職の職業は夜遅くにあることが多いので、もう少し開始時間を遅らせてほしい。
	講義の時間・回数を増やしてほしい。
	全体的すごく良いインターンシップでした。只、講義時間が長いように感じました。
	担当コーディネーターの方がおられ、実習などで休む際に相談しやすかった。木曜日なので、大学の授業と被っている日があった。
	良かったことは、講座や事務局の方の対応。 悪かったことは、実際の準備期間が短かった事
	良：長期間だったので充実して学べた。 悪：木曜日、土曜日が授業との兼ね合いが大変

全体について	今回のインターンシップは自分の目指す職業について知り、ビジョンを固める大変貴重な機会となり、とても満足しています。
	自分が思った以上に大変でしたが、それ以上に仕事を理解したり、コミュニケーションをとる中で、自分の弱みを発見することができ、やりがいも感じる事ができた。
	想像していたよりもずっと密度の濃い学びや人間関係が作れたので満足している。
	正直、交通費は出してほしかった。(受入先に対して)
	とても自分の人生の中で大きな財産となったインターンシップでした。「今のレベルで満足せず、上を目指すためにもっと自主的に動く」という気持ちもこのインターンシップをしないと得られないものでした。
	一回一回の振り返りがあったことにとても満足しました。
	始めはキャリア形成の一つとして参加したのですが、実際に実習に行くと、社会人として働くことの大変さ、これからの大学生活で身に付けなければならないことに気づかされた。
	自分には足りない力に気づくことができ、このインターンで経験させてもらえて本当に良かったなと感じました。関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。
	業界の厳しさが感じられた。
	一般に言う「インターンシップ」とは少し違った貴重な経験ができて、とても自分にとってプラスになった。
	まとめると、平等性と対応力の重要性に気づかされました。気付きが多すぎて書ききれません。短い間ではありましたがありがとうございました、
	長期だからこそ、気付けたことも多くありました。ありがとうございました。
	チームになってすることの大事さが分かった。私一人だと得るものにも限界があった。
	良い面悪い面両方で自分の将来、社会でどう生きていくかという考え方に影響を与えてくれたように思います。悪い面とも書きましたが、このプログラムに参加していなければそれもなかったと思うので、これからも続けてもらいたいです。
成長もあったが、自分の弱い部分が如実に現れることになった。弱点を改めて、自覚できたことは良かったし、今後の課題対処に向かえるという意味でもとても有意義だった。	

その他の意見・要望・改善点	事務局の方々がバタバタしているように思えた。
	あまりにも人数が少ないインターンはするべきではないと思う。
	他団体の中には正直労働としか見ていないんじゃないかと思うことはあった。
	受け入れ人数に差があったのが気になる。プロジェクトの定義に差があるのも気になる
	受入先の企業選択を厳しくした方が良いと思う。学生主体で行うのは当然であるが、見守る側の目もしっかりしないと学生に不満が出てくる。
	期待値より低かったので、正直受講料+インターンシップにかかる費用を払ってやる価値があるかどうか疑問だった。
	当初予定していたものとはかなり違ったが、自分の力試にはなったので、そこはとても感謝しています
	冊子の記入について、冊子は提出なのかもっと初期からはっきりさせるべき。
活動期間が長く、時間も長かったので、毎日プロジェクト誌を書くのは難しいと感じた。書くとしてもページも足りないです。	

第5章 今後の課題

事業創設時より受講生、受入団体の拡大とプログラム水準の高度化を進めてきたが、インターンシップの定着化に伴い、財団事業としての特色が求められている。2016年度は、質的充実のため、講義内容も含めたプログラム全体の見直し・改善をインターンシップ事業企画検討委員会、各コーディネーター会議を中心に進める。

全コース共通課題として、学生の出願数確保、新任を含めたコーディネーター相互の連携強化、事務処理の正確性向上と迅速化を目的に、受入先エントリーシステムの再構築、学生出願受付システムの構築を検討する。またコース運営の円滑化のため、プログラム運営におけるコーディネーターの役割をより明確にする。

また、大学との委託契約については2014年度より、単位認定を行おうとする大学と財団間においてインターンシップ事業に関わる委託契約の締結を開始した。引き続き、単位認定を行う大学については委託契約を進める。

2015年度には、インターンシップ修了後一定期間を経た修了生を対象としたアンケート調査を実施した。インターンシップ・プログラムの教育目的の効果測定を行い、2015年度末には報告書を発行する予定である。この結果を通じて、財団インターンシップの魅力と特色を発信し、同時に修了生の組織化を検討する。

I. プロGRESSコースの課題

受入先の質・量の確保を目指し、高い教育効果を得られるようプログラムを検討する。また、受入先、コーディネーターとの連携を深めるようにする。

II. ビジネス・パブリックコースの課題

2015年度には、事後学習において「他クラスと実習経験交流会」を初めて実施した。各コーディネーター及び受講生から寄せられた改善点を元に実施時間・方法を検討する。また、各大学へ委嘱するコーディネーターの安定的確保が懸案事項である。

資料1. 出願者・受講者数と受入れ企業・団体数について

1) コース別 出願者数と登録団体数

コース名	学生			企業・団体		
	出願者数	実習許可者数	修了者数	登録団体数	受入れ団体数	受入れ率
ビジネス	542	254	245	166	135	81.3%
パブリック		89	83	51	37	72.5%
プロGRESS	49	45	43	14	9	64.3%
合計	591	388	371	231	181	78.4%

2) 学年別 出願者数と受講率

学年	出願者数		実習許可者数		受講率
	人数	全体に占める割合	人数	全体に占める割合	
1年次(回生)	2	0.3%	1	0.3%	50.0%
2年次(回生)	39	6.6%	26	6.7%	66.7%
3年次(回生)	536	90.7%	349	89.9%	65.1%
4年次(回生)	5	0.8%	4	1.0%	80.0%
5年次以上(回生)	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
大学院生	9	1.5%	8	2.1%	88.9%
合計	591	100.0%	388	100.0%	65.7%

3) 男女別 出願者数と受講率

	出願者数		実習許可者数		受講率
	人数	全体に占める割合	人数	全体に占める割合	
男性	220	37.2%	138	35.6%	62.7%
女性	371	62.8%	250	64.4%	67.4%
合計	591	100.0%	388	100.0%	65.7%

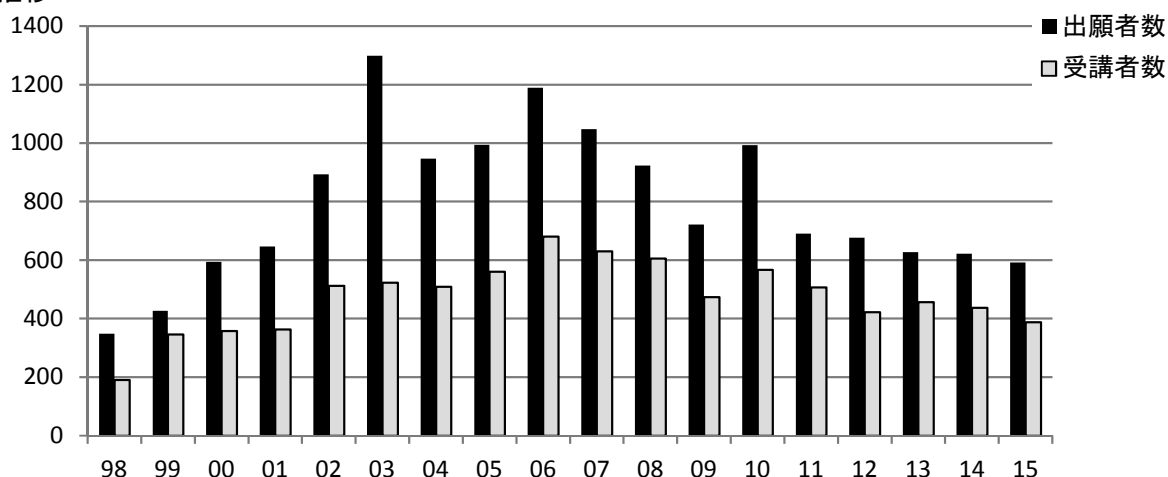
4) 大学別 出願者数

	大学名	出願者数		大学名	出願者数	
加盟大学	京都大学	9	加盟大学	京都ノートルダム女子大学	12	
	京都教育大学	1		京都美術工芸大学	0	
	京都工芸繊維大学	12		京都文教大学	30	
	京都市立芸術大学	0		京都文教短期大学	0	
	京都府立大学	13		京都薬科大学	0	
	京都府立医科大学	0		種智院大学	0	
	池坊短期大学	0		成安造形大学	6	
	大谷大学	18		成美大学	0	
	大谷大学短期大学部	0		成美大学短期大学部	0	
	京都医療科学大学	0		同志社大学	77	
	京都外国語大学	0		同志社女子大学	18	
	京都外国語短期大学	0		花園大学	1	
	京都学園大学	20		佛教大学	3	
	京都華頂大学	1		平安女学院大学	0	
	華頂短期大学	0		平安女学院大学短期大学部	0	
	京都看護大学	0		明治国際医療大学	0	
	京都経済短期大学	0		立命館大学	30	
	京都光華女子大学	12		龍谷大学	162	
	京都光華女子大学短期大学部	0		龍谷大学短期大学部	0	
	京都嵯峨芸術大学	3		大阪医科大学	0	
	京都嵯峨芸術大学短期大学部	0		京都情報大学院大学	0	
	京都産業大学	19		放送大学 京都学習センター	0	
	京都女子大学	105		非加盟大学	大阪大学	2
	京都精華大学	2			関西大学	2
	京都西山短期大学	0			大阪工業大学	1
	京都聖母女学院短期大学	2			大阪産業大学	1
	京都造形芸術大学	0			滋賀大学	1
	京都橘大学	28			出願者総数	591

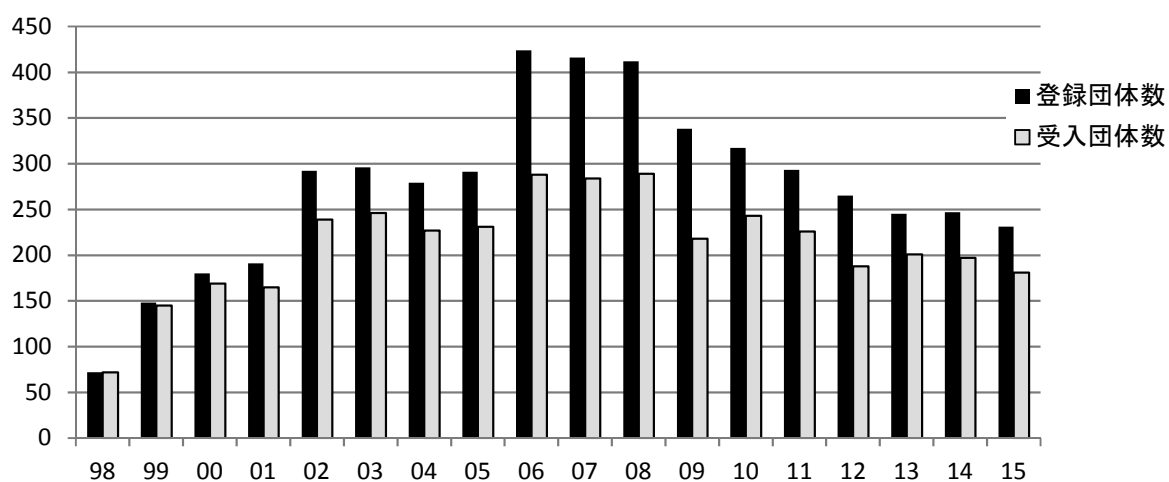
資料2. 参加団体・出願者・受講者・コーディネーター数の推移

年度	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
出願者数	348	426	593	646	893	1298	946	994	1189	1047	923	721	993	690	676	627	621	591
受講者数	190	346	358	363	512	523	509	560	680	630	605	473	567	507	422	456	437	388
登録団体数	72	148	180	191	292	296	279	291	424	416	412	338	317	293	265	245	247	231
受入団体数	72	145	169	165	239	246	227	231	288	284	289	218	243	226	188	201	197	181
CO人数	9	12	13	16	27	26	30	32	39	40	43	37	37	38	37	35	32	31

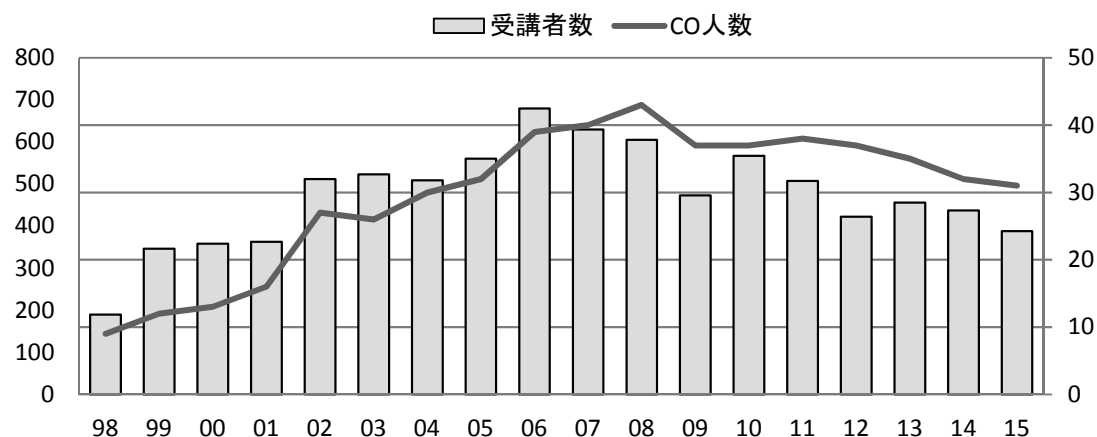
出願者数の推移



受入れ団体数推移



CO数と受講生推移



資料3. 受入先登録企業・団体一覧

ビジネス・パブリックコース

◆製造

株式会社石田老舗
株式会社カシフジ
株式会社加貫ローラ製作所
株式会社川勝總本家
有限会社共同設計企画
キンシ正宗株式会社
グンゼ株式会社
こと京都株式会社
株式会社魁半導体
株式会社セイワ工業
株式会社積進
寺崎電気産業株式会社
株式会社 傳來工房
日東精工株式会社
日東電工株式会社
マルホ発條工業株式会社
株式会社壬生電機製作所
ムラタ
ロンドフードサービス株式会社

◆人材ビジネス

株式会社OVO
学生情報センターグループ
株式会社ナジック・アイ・サポート
株式会社キャリアパワー
株式会社ブレイス
株式会社類設計室

◆情報・通信・マスコミ

アートム株式会社
株式会社キイストン
株式会社教育ソフトウェア
株式会社京都放送
協和テクノロジズ株式会社
GMOクラウド株式会社 大阪支社
株式会社SIGEL
大和電設工業株式会社
東映株式会社 京都撮影所
バルトソフトウェア株式会社
株式会社フロムページ
株式会社三菱総合研究所
有限会社くらむぼん出版
株式会社島津アドコム
株式会社ディレクターズ・ユニブ
株式会社図書印刷同朋舎
株式会社ビードリーム
株式会社貿易広告社 大阪支社

◆士業

司法書士法人F&Partners
大阪社労士事務所
特許業務法人京都国際特許事務所
税理士法人京都ビジコン
中央ビジネスグループ
中村利雄法律事務所

◆建設・不動産

株式会社学生ハウジング
京都駅ビル開発株式会社
株式会社空間デザイン
株式会社社長栄
株式会社莫設計同人
株式会社フラットエージェンシー
有限会社一級建築士事務所 ターボ設計
株式会社ローバー都市建築事務所

◆金融・保険・証券

株式会社葵総合保険
株式会社エスアールエム
SMBC日興証券株式会社
株式会社京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
全労済中日本事業本部
西村証券株式会社
野村證券株式会社 京都支店

◆出版・印刷・広告

株式会社あおぞら印刷
株式会社エトレコミュニケーションズ
株式会社エフアイシー
株式会社関広
株式会社京都通信社

◆運輸・流通

株式会社エルムンドトラベル
株式会社サカイ引越センター
株式会社JTB西日本
株式会社塚腰運送

◆医療・福祉

医療法人財団康生会武田病院
社会福祉法人行風会
医療法人社団 千春会
社会福祉法人 同胞会 同胞の家
パナソニック
エイジフリーサービス株式会社
洛和会ヘルスケアシステム

◆教育

大谷大学
株式会社キャリア総研
京都女子大学
京都聖母女学院短期大学
京都大学
京都ノートルダム女子大学
京都文教大学
京都薬科大学
公益財団法人 大学コンソーシアム京都
学校法人大和学園
同志社大学
学校法人 佛教教育学園 佛教大学
立命館大学
龍谷大学
京都外国語大学 京都外国語短期大学
京都学園大学
京都華頂大学・華頂短期大学
京都工芸繊維大学
京都産業大学
学校法人京都産業大学 すみれ幼稚園

◆卸売・小売・販売

株式会社老松
株式会社くろちく優美舎
株式会社鼓月
株式会社佐野
三共精機株式会社
株式会社ジェイアール西日本伊勢丹
秀和株式会社
株式会社ジュンク堂書店 京都店
株式会社聖護院ハツ橋総本店
生活協同組合コープこうべ
ダイイチ株式会社
つるやゴルフ
株式会社富田屋
株式会社 西利
株式会社野田屋
株式会社ハートフレンド
(総合食品スーパーフレスコ)
株式会社花工房
パナソニックシステム
ネットワークス株式会社 関西社
株式会社ヒトミ
富士ゼロックス京都株式会社
丸善株式会社京都支店
株式会社ミル総本社
八洲薬品株式会社
株式会社 レスキュージャパン

◆飲食・宿泊

ウェスティンホテル大阪
 ウェスティン都ホテル京都
 株式会社プリンスホテル
 大津プリンスホテル
 京都タワー株式会社
 株式会社プリンスホテル
 グランドプリンスホテル京都
 株式会社グルメ軒屋
 株式会社国華荘 びわ湖花街道
 里湯昔話 雄山荘
 株式会社すみや亀峰菴
 株式会社 琵琶湖ホテル
 株式会社ホテルグランヴィア大阪
 株式会社ロイヤルホテル
 リーガロイヤルホテル京都
 株式会社ロイヤルホテル
 (リーガロイヤルホテルグループ)

◆サービス業・その他

株式会社アイアム
 嵐山通船株式会社
 株式会社エイジェイクリエーション
 オーパルオブテックス株式会社
 かみなか農楽舎
 株式会社キャピタル東洋亭本店
 株式会社京都映画センター
 京都エレベータ株式会社
 京都工業株式会社
 京都精華大学 京都国際マンガミュージアム
 京都生活協同組合
 近鉄レジャーサービス株式会社
 (志摩スペイン村)
 草津商工会議所
 株式会社くろちく
 サンスイコンサルタント株式会社
 しあわせ総合研究所グループ
 株式会社ジイケイ京都
 株式会社高浄
 株式会社地域社会研究所
 株式会社地域未来研究所
 西陣織会館
 株式会社日建設計
 株式会社乃村工藝社
 株式会社ビーイング
 株式会社ビックスマイル
 公益財団法人びわ湖ホール
 有限会社丸益西村屋
 株式会社ユメコム
 株式会社 ワタナベ美装
 ワタベウェディング株式会社

◆非営利組織<NPO・NGO>

あそあそ自然学校
 特定非営利活動法人
 アントレプレナーシップ開発センター
 大阪高齢者生活協同組合
 一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団
 特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会
 認定特定非営利活動法人 気候ネットワーク
 京都芸術センター
 特定非営利活動法人 京都子どもセンター
 公益財団法人京都市国際交流協会
 公益財団法人 京都市ユースサービス協会
 京都府地球温暖化防止活動推進センター
 一般財団法人京都ユースホステル協会
 公益財団法人 公害地域再生センター
 (あおぞら財団)
 特定非営利活動法人子ども自立の郷
 ウォームアップスクールここから
 特定非営利活動法人
 生活環境づくり21・NPOフォーラム
 特定非営利活動法人月と風と
 特定非営利活動法人
 とよなか市民環境会議アジェンダ21
 NPO法人のあつく自然学校 枚方統括事務所
 NPO法人ピープルアクティブライフ
 一般社団法人比良里山クラブ
 認定NPO法人びわこ豊穰の郷
 特定非営利活動法人まんぼう
 京エコロジーセンター
 (京都市環境保全活動センター)
 特定非営利活動法人結芽

◆官公庁

綾部市役所
 宇治市役所
 近江八幡市
 一般財団法人 大阪市教育振興公社
 亀岡市役所
 川西町役場
 京田辺市役所
 京都国立近代美術館
 京都市
 京都市野外活動施設 花背山の家
 京都府庁
 草津市役所
 滋賀県庁
 摂津市
 徳島県大阪本部
 豊中市伊丹市クリーンランド
 長岡京市役所
 南丹市教育委員会 南丹市立文化博物館
 東近江市役所
 彦根市
 福知山市役所
 宮津市役所
 向日市役所
 守山市役所
 八幡市役所
 栗東市役所
 京都府立るり溪少年自然の家

プログ्रेसコース

株式会社インサイトハウス
 株式会社インテリジェンスオフィス
 有限会社ウイズ
 株式会社よさの
 認定特定非営利活動法人 気候ネットワーク
 特定非営利活動法人 木野環境
 公益財団法人 京都市ユースサービス協会
 京都府教育委員会
 特定非営利活動法人子ども自立の郷
 ウォームアップスクールここから
 コンセプトグラマー有限会社
 株式会社ナスカ
 日本女子プロ野球リーグ 京都フローラ
 (株式会社わかさ生活女子プロ野球事業部)
 株式会社ユメコム
 洛和会ヘルスケアシステム

資料4. プログレスコース講義概要

日程	時間	全体の流れ	回数	講義名	講義形式	内容	
6/11 (木)	18:00 ~19:30	プロジェクトの導入	第1講	オリエンテーション (プロジェクト型インターンシップのリスクマネジメント、プロジェクトメンバーの相互理解)	全受講生 合同	プログラムの概要やプログラムに臨む心構え等を説明します。プロジェクト毎にプロジェクトメンバーの紹介をします。	
	19:40 ~20:20		第2講	プロジェクト・マネジメント (プロジェクト・マネジメントの概要 -PCMの講義-)		計画→実施→評価のプロジェクト・サイクル・マネジメントの手法を学ぶ	
6/25 (木)	18:00 ~19:30		第3講	企業人ならびに修了生によるプレゼンテーション プロジェクトマネジメント (プロジェクトの経験談・アドバイス等)		企業人のアドバイスと修了生による体験談からプロジェクト・マネジメントを学ぶ。他プロジェクトの受講生との意見交換を行います。	
	19:40 ~21:10		第4講	コミュニケーショントレーニング		就業意識の向上、ビジネスマナーの基本、対人関係の中でのコミュニケーション能力等について、専門講師を招いて講習します。	
7/2 (木)	18:00 ~19:30		プロジェクト形成	第5講	プロジェクト・マネジメント (テーマに応じて実習や事業のデザイン①)	各プロジェクト	プロジェクト目標の明確化
	19:40 ~21:10			第6講	プロジェクト・マネジメント (テーマに応じて実習や事業のデザイン②)		プロジェクト内容の明確化
7/9 (木)	18:00 ~19:30			第7講	プロジェクト・マネジメント (テーマに応じて実習や事業のデザイン③)		プロジェクトを形成する体制の明確化
	19:40 ~21:10			第8講	プロジェクト・マネジメント (テーマに応じて実習や事業のデザイン④)		プロジェクト活動計画表を完成させる
7/16 (木)	18:00 ~19:30			第9講	プロジェクト・マネジメント (今後の活動の確認、活動計画の発表)	全受講生 合同	プロジェクト活動計画表の発表。他プロジェクトの受講生との意見交換を行い、プロジェクト活動計画表の完成度をあげます。
	19:40 ~21:10			第10講			
夏休み期間中には、受入れ先ごとにプロジェクトを行います。							
10/1 (木)	18:00 ~19:00	フォローアップ		第11講	プロジェクト・マネジメント (プロジェクト中間報告)	全受講生 合同	それぞれのプロジェクトにおける夏期休暇中の進捗状況を報告しあい、今後の成果報告会に向けての準備を行っていくとともに、プレゼンテーションのポイントや方法等については専門講師よりレクチャーを受けます。また、プログラム受講を通しての、自己の変化を振り返ります。
	19:05 ~20:05		第12講	プロジェクト・マネジメント (プロジェクト評価方法の概要)			
	20:10 ~21:10		第13講	プロジェクト・マネジメント (プレゼンテーショントレーニング)			
10/15 (木)	18:00 ~19:30		第14講	プロジェクト・マネジメント (プレゼンテーション準備①)	各プロジェクト	プロジェクトの実施、プレゼンテーションの準備等	
	19:40 ~21:10		第15講	プロジェクト・マネジメント (プレゼンテーション準備②)			
10/29 (木)	18:00 ~19:30		第16講	プロジェクト・マネジメント (プレゼンテーション準備③)		プレゼンテーションの準備等	
	19:40 ~21:10		第17講	プロジェクト・マネジメント (自己評価：プログラム受講を通しての自己の変化を振り返る)		プログラム受講を通しての、自己の変化を振り返ります。	
11/14 (土)	10:40 ~12:10		プロジェクト報告・評価	第18講	成果報告会・修了式	全受講生 合同	約5ヶ月にわたるプログラムの総括として、プロジェクトごとに活動報告を行います。全体で、それぞれのプロジェクトの到達点について相互評価を行い、今後の学生生活の目標を明らかにします。また、修了証を授与します。
	13:00 ~14:30			第19講			
	14:40 ~16:10			第20講			
	16:20 ~17:50	第21講					
	18:00 ~19:00	懇親会		受入れ先担当者・コーディネーター・受講生による懇親会 ※参加必須			

資料5. プログレスコースプロジェクト別コーディネーター一覧

受入れ先	プロジェクト概要	受講生数	コーディネーター
京都府教育委員会	【教員養成サポートセミナー】 教員を目指す大学生が、学校現場での演習を通して理論と実践を結びつけ、実践的指導力を身に付けていくことを目指す。	14	谷口 知弘 (同志社大学)
株式会社ユメコム	【自分の老後と家族の介護の情報誌「ライフライク」企画制作プロジェクト】 高齢者と高齢者を抱える家族のための相談窓口「シニアサポートデスク」の運営を理解したうえで、情報誌『ライフライク』の発行に携わる。企画をもとに、協力先の企業団体を営業し、掲載ページの制作を行います。	1	河村 能夫 (龍谷大学)
株式会社よさの	【京丹後野菜の認知度向上に向けた取り組み】 実際に収穫作業の体験をし、現地生産者の方へのヒアリングを通じて、与謝野における農業事情や新しく始めた加工用トマトの産地化や6次産業化の取組について学ぶ。その知識を基に京阪神における消費者に対してどのような広報が出来るかを考え、実際に行う。	2	
株式会社 インテリジェンスオフィス	【ヒトマナビインターンシップ2015】 フリーペーパー『働く人々 図鑑2015』の発行と『仕事研究イベント』の開催。就活に役立つフリーペーパーの発行とイベントの開催を目指します。企画・営業・取材・編集・制作をと、様々な仕事にチャレンジしながら、働くリアルを体感するプロジェクト。	14	◎渡邊 博己 (京都学園大学)
特定非営利活動法人 子ども自立の郷ウォーム アップスクールここから	【余呉の地域と不登校生の心を結ぶ夏祭りの運営と触れ合いの場づくり】 今年で4年目となる「夏祭り」の企画・運営と滋賀県余呉地域の活性化のために活動をする。地域の人々と不登校生の触れ合いが深まるための夏祭りや触れ合いの場づくり等に直接参加し、不登校生の自信回復や人への信頼回復のきっかけづくりをする。	2	申 昌浩 (京都精華大学)
特定非営利活動法人 気候ネットワーク	【国連気候変動交渉の進展のための情報収集・分析及び情報発信】 2015年度に国連気候変動枠組条約第21回締約国会議がフランスで開催され、新しい温暖化防止の国際枠組みに合意することがめざされている。このプロジェクトでは、NGOの立場から、これに関連する情報収集、分析、整理、発信に取り組む。関連するイベントの企画・運営、関連事務作業を担う。	3	桜沢 隆哉 (京都女子大学)
コンセプトグラマー 有限公司	【京都朝げいこ】 出勤前の朝時間を活用する朝活講座です。PR会社が独自で事業化しているので、講座の企画・運営・募集実務を通じて、本格的にエリアマーケティング、プロモーションの実践に触れる。	3	西村 雅信 (京都工芸繊維大学)
日本女子プロ野球リーグ 京都フローラ (株式会社わかさ生活 女子プロ野球事業部)	【日本女子プロ野球リーグ 京都フローラ 試合時イベント企画・運営】 公式試合の運営・企画の考案から実施をする。当日の企画実施までは、ホームゲームの運営に関わり、現場を知り改善案を考える。	4	久保 和之 (龍谷大学)
有限会社ウィズ	【映画を作って配給して宣伝して公開しようプロジェクト】 制作、配給、宣伝を行う劇場映画企画に参加し、撮影前の準備、撮影アシスタントとして撮影に参加、配給宣伝の実務作業を研修、体験する。	2	山本 建太郎 (京都工芸繊維大学)

◎総合コーディネーター

資料6. ビジネス・パブリックコース講義概要

日程	時間	回数	講義名	講義形式	内容
6/13(土)	10:00 ～11:00	第1講	オリエンテーション：実習参加の心構え	全受講 生合同	プログラムの概要や、プログラムに臨む心構え等を説明します。
	11:10 ～12:40	第2講	クラスの相互理解	ゼミ	クラスに分かれ、担当教員を中心として、クラスメンバーの紹介をします。
	13:40 ～15:10	第3講	実習に向けた目標と仮説設定 <グループディスカッション>		グループディスカッションを中心として、実習目標と仮説設定のための意見交換を行います。
	15:30 ～16:30	第4講	コミュニケーショントレーニング		就業意識の向上、ビジネスマナーの基本、対人関係の中でのコミュニケーション能力等について、専門講師を招いて講習します。
	16:40 ～18:10	第5講			
6/27(土)	10:00 ～11:00	第6講	スキルアップトレーニング	特別クラス編成	ロジカルシンキングの獲得を目指し、専門講師を招いて実践的理論を学びます。
	11:10 ～12:40	第7講			
	13:40 ～15:10	第8講	業界と社会に対する学習① <ゲストスピーカーの講演>	ゼミ	受入れ先担当者や修了生等のお話をもとに受入れ先について探求し、事前学習レポートの内容を深めます。
	15:20 ～16:50	第9講	業界と社会に対する学習② <ディスカッション>		
7/4(土)	10:00 ～11:30	第10講	実習に向けた目標と仮説設定① <グループディスカッションを通じた軌道修正>	ゼミ	事前学習の総まとめとして、最終的に実習目的を明確にします。また、事前学習レポートの書き方のポイントを学びます。
	12:30 ～14:00	第11講	実習に向けた目標と仮説設定② <実習直前の相互確認>		
	14:20 ～15:50	第12講	リスクマネジメント講習	全受講 生合同	実習中に留意しなくてはならないリスクについて学びます。
	16:00 ～17:30	第13講	オリエンテーション：実習にあたって		
実習の実施（原則として8月中旬～9月中旬の期間で実施されます。）					
9/19(土)	9:00 ～10:30	補講	※クラスによって実施される場合があります。	ゼミ	
	10:50 ～12:20				
9/26(土)	10:00 ～11:00	第14講	実習における経験交流① <経験の共有>	ゼミ	実習において得たことや感じた課題等について相互に発表を行い、個々の体験をクラスで共有します。それらに基づくディスカッションを通して仮説の検証を行い、また、事後学習レポートの内容を深めます。そのうえで、今後の学生生活の目標を明らかにします。
	11:10 ～12:10	第15講	今後の学生生活を考える <レポート作成に向けて>		
	13:10 ～14:40	第16講	実習における経験交流② <実習経験交流会に向けて>		
	14:50 ～16:20	第17講	実習における経験交流③ <実習経験交流会>	ゼミ合同	実習を通して学んだことをゼミごとに発表します。
	16:40 ～17:10	第18講	全体講評 修了式		
	17:20 ～18:00		懇 親 会		全受講 生合同

資料7. ビジネスコース・パブリックコースコーディネーター一覧

コース	主な業種・業界	クラス	受講生数	氏名	大学	所属等
ビジネス	製造・小売・販売	B-1	12	濱田 崇嘉	龍谷大学	経営学部
	情報・通信・マスコミ	B-2	14	桜沢 隆哉	京都女子大学	法学部
	サービス	B-3	16	黒田 健二	京都聖母女学院短期大学	生活科学科
	医療・福祉	B-4	12	伊原 千晶	京都学園大学	人文学部
	飲食・宿泊	B-5	15	手嶋 英貴	京都文教大学	総合社会学部
	飲食・宿泊	B-6	15	布施 将夫	京都外国語短期大学	キャリア英語科
	出版・印刷・広告	B-7	15	石本 哲子	大谷大学	文学部
	出版・印刷・広告	B-8	13	○ 三浦 潔	京都文教大学	総合社会学部
	運輸・流通・小売・販売	B-9	14	蒲生 孝治	京都女子大学	現代社会学部
	卸売・小売・販売	B-10	15	山田 廣己	京都産業大学	大学院法務研究科・法学研究科
	製造・卸売・小売・販売	B-11	15	吉田 咲子	京都光華女子大学・ 京都光華女子大学短期大学部	キャリア形成学部
	建設・不動産	B-12	13	佐々木厚司	京都工芸繊維大学	大学院工芸科学研究科
	製造	B-13	14	三好 力	龍谷大学	理工学部
	教育	B-14	18	谷本 啓	同志社大学	商学部
	教育・人材ビジネス	B-15	18	◎ 多田 実	同志社大学	政策学部
	金融・保険・証券	B-16	18	遠藤 敏幸	同志社大学	商学部
	士業・金融・保険	B-17	18	山内 雄気	同志社大学	商学部
パブリック	官公庁・非営利組織	P-1	15	◎ 古川 秀夫	龍谷大学	国際学部
	官公庁・非営利組織	P-2	15	李 為	京都産業大学	経営学部
	官公庁	P-3	14	酒井 恵光	大谷大学	文学部
	官公庁	P-4	15	坂本 雅則	龍谷大学	経営学部
	官公庁	P-5	15	○ 河村 律子	立命館大学	国際関係学部
	官公庁	P-6	14	藤木 潤司	龍谷大学	経営学部

◎:総合コーディネーター ○:チーフコーディネーター

資料8. 受講生意識調査集計結果

就職に対する意識や自己理解に関する質問項目を設定し、実習若しくはプロジェクト実施の前後に同じ質問に回答する形式の調査を行い、インターンシップが与える影響についての考察を加えた。

社会人として仕事をするうえでの知識や心構えに関わる「就職レディネス」、自己管理能力の感覚に関わる「有能感」、自らの社会における立場をわかまえているかについて知る「自己主体性」の3つの要素を測定するため、30項目の指標を用いた(表-1)。

また、各質問についてはそれぞれ「非常に当てはまる」を6点、「かなり当てはまる」を5点、「やや当てはまる」を4点、「やや当てはまらない」を3点、「かなり当てはまらない」を2点、「全く当てはまらない」を1点として、平均点を算出し、グラフ化して比較した(表-2)。

1.実施日

ビジネスコース・パブリックコース
プログレスコース

2015年6月13日(土)／2015年9月26日(土)

2015年6月11日(木)／2015年10月29日(木)

2.回答数

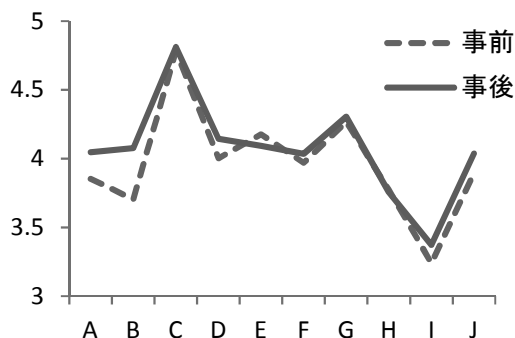
	実習許可 者数	事前		事後	
		回答数	回答率	回答数	回答率
ビジネスコース	254	330	96.2%	324	94.5%
パブリックコース	89				
プログレスコース	45	43	95.6%	43	95.6%
合計	388	373	96.1%	367	94.6%

表-2. 意識調査結果(比較)

<全体>

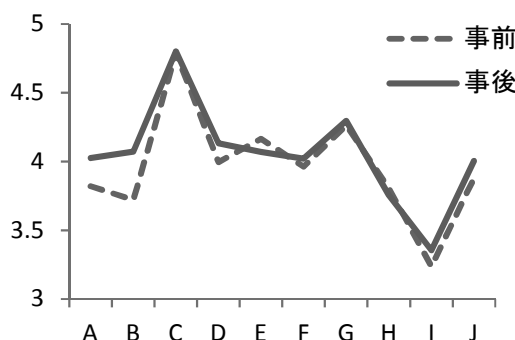
「就職レディネス」に関する項目の変化が大きく、インターンシップに参加することで社会人になる心構えに変化が生じることがわかる。

「有能感」に関する項目において、コースにより差が生じたが、長期間にわたる活動と成果を求められるプログレスコースにおいて「有能感」が伸びたことについてはコースの特性と考えられる。



<ビジネスコース・パブリックコース>

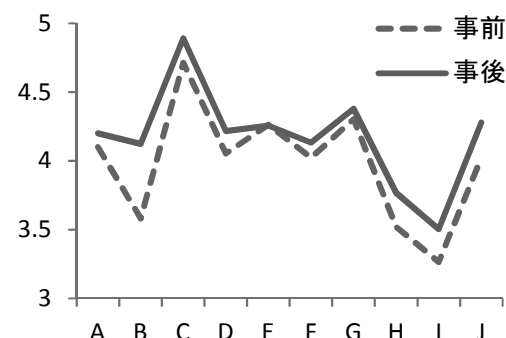
「有能感」に関する項目において、事後調査では事前調査を下回る項目があったが、実際に仕事を体験し、自らに不足している能力に気づくことができた結果ともいえる。



<プログレスコース>

「就職レディネス」の項目の中でも、B「組織で働くことへの理解」に関する変化が大きく、プロジェクトを実行する過程で、様々な職業、社会人との関わりが変化をもたらしたと考えることができる。

また、「自己主体性」の項目においても大きな変化をもたらす結果となり、単なる就業体験にとどまらないプログラムであったといえる。



資料8. 受講生意識調査集計結果

表-1. 意識調査の指標と平均点

		実習前						実習後						
		ビジネス・パブリック		プログレス		全体		ビジネス・パブリック		プログレス		全体		
		平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均		
就職 レディ ネス	A	職場の人間関係の難しさはある程度知っている。 仕事上の優れたリーダーシップのあり方が分かる。 職業人としての礼儀、作法を心得ている。	4.43	3.82	4.44	4.10	4.44	3.85	4.41	4.02	4.58	4.20	4.43	4.05
	B	組織で働くこと への理解	4.14	3.72	4.00	3.58	4.12	3.70	4.36	4.07	4.47	4.12	4.37	4.08
	C	学生と社会人 の区別	3.62	3.40	3.44	3.30	3.60	3.39	4.03	3.82	4.12	3.79	4.04	3.81
有能感	D	ジェンダー問題 への気づき	3.40	4.87	3.30	5.00	3.39	4.88	3.82	4.98	3.79	4.82	4.81	
	E	実行力	4.11	4.53	3.88	4.71	4.08	4.78	4.38	4.40	4.89	4.38	4.81	
	F	環境適応力	5.39	4.04	5.26	4.23	5.38	4.06	5.22	5.30	4.23	5.23	4.08	
自己主体性	G	柔軟な物事の 見方	3.51	4.15	3.42	4.30	3.50	4.17	3.97	4.00	3.81	4.26	3.95	4.14
	H	生活規律	4.44	4.53	4.51	4.05	4.45	4.00	4.37	4.13	4.60	4.22	4.40	4.14
	I	社会へのコミット 感	4.04	3.81	4.23	3.84	4.06	3.81	4.06	4.23	4.26	4.26	4.03	4.09
自己主体性	J	自己理解	4.15	4.53	4.30	4.65	4.17	4.54	4.00	4.18	4.26	4.51	4.38	4.09
			3.81	3.83	3.84	4.02	3.83	3.97	3.85	3.92	4.00	3.93	3.87	4.03
			4.12	3.94	4.09	4.14	4.12	3.96	4.05	4.02	3.95	4.13	4.04	4.03
		3.97	4.08	4.00	4.12	3.97	4.27	4.19	4.30	4.33	4.38	4.20	4.31	
		4.73	3.68	4.79	3.65	4.74	3.68	4.64	4.70	4.70	4.64	4.64	4.64	
		3.68	4.39	3.63	3.52	3.68	3.77	3.53	3.75	3.72	3.77	3.55	3.76	
		4.39	3.35	3.28	3.28	3.34	4.30	3.64	4.09	3.81	3.81	4.05	3.66	
		3.55	3.55	3.56	3.56	3.55	3.55	3.62	3.62	3.79	3.79	3.64	3.64	
		2.59	3.56	2.70	3.26	2.61	3.24	2.64	3.35	2.90	3.50	2.67	3.37	
		3.56	4.20	3.53	3.53	3.56	3.56	3.80	3.80	3.81	3.81	3.80	3.80	
		4.20	3.92	4.37	4.19	4.22	3.90	4.35	4.00	4.77	4.28	4.40	4.04	
		3.92	3.51	4.19	3.51	3.95	3.90	4.14	4.00	4.26	4.28	4.15	4.04	
		3.51	3.51	3.51	3.51	3.51	3.51	3.53	3.53	3.81	3.81	3.56	3.56	

2015年度インターンシップ・プログラム実施報告書

発行日 2016年1月

発行・編集 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
高大連携・インターンシップ事業部

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内

TEL: (075) 353-9106 FAX (075) 353-9101

<http://www.consortium.or.jp>
